

# 働く姿へまなざし熱く

## 「THE仕事」取材成果を発表

柿崎中

上越市柿崎区の柿崎中学校の一年生が十五日、働く人の姿を取材した成果をポスターにして発表する「THE仕事」が開



かれた。この授業は仕事現場の写真やインタビューの取材を通じて、生徒たちが職業への意識を高めた。

仕事の現場を取材したポスターを前に、成果を発表する一年生。上越市柿崎区の柿崎中学校

今回の重点は写真で思いを表現すること。二月に新潟日報の写真記者を

# あいさつが第一歩

## 上越 高校生に就職セミナー

就職を希望する高校生が職業観を身に付け、仕事に対して高い意識を養うための就職セミナー（上越雇用促進協議会など主催）が十五日、上越市のホテルで開かれた。

上越地域の高校に通い、来春卒業する二年生三百二十人を前に、キャリアアドバイザーの土井恵子さん（上越市）が、働くことの魅力や、社会

招き、全員で撮影の心掛や構図の基本を聴くなど準備も万端。その後、生徒たちは手分けして、市内の公共機関や商店街など十三カ所を取材した。

成果をポスターにして展示、取材先の陸上自衛隊高田駐屯地の隊員や父母たちも招待した。生徒たちは洗練された構図になった写真の力作を前に「お客さんの笑顔が励みになる」と聞いて感心する。

「自分の将来に生かしたい」など仕事への思いを発表した。授業の成果はA4判二十四ページの写真集「THE仕事ギャラリー」として、生徒や取材先に配布する。

人としてのコミュニケーションの大切さについて講演。企業の求める人材について「あいさつやマナーがしっかりでき、自分で考えて行動できる人」と、生徒が具体的にイメージできるように丁寧に説明した。

本県では二〇〇五年度、高校新卒で就職した二人に一人が三年以内に離職している。土井さんは生徒に質問を繰り返しながら「あいさつとマナーが一番大切」と強調。「時と場所をよく踏まえ行動を心掛けること」と、講演中に私語をやめない生徒に呼び掛ける場面もあった。新井高校の小嶋夏実さん（二）は「あいさつなど日常なことから大切にしていかないといけないと思います」と話していた。

